

成人式典行われる

二二一名祝う

光町成人式典は、一月十五日午前十時から町体育館で行われました。

会場には、華やかな晴着姿や背広姿の青年二二一名（男一〇八名、女一〇三名）が出席し、晴れて大人の仲間入りをしました。

意見発表では、四名の方々が大人への決意を発表し、将来へ向かって力強いスタートを切りました。（発表要旨は四回に亘り掲載します。）

帰りに、記念品を受取りクラス会やお宮参りに向かいました。成人された皆さんが、社会の荒波にくじけず自分の目標に向かって精進できるよう温かく見守ってやりたいものです。

しっかりした自覚と責任を!!

長塚 吉田信也（学生）



方をしている人が多いように見える。

二十歳という年齢が、以前とは、情況が変わってきた。

高等教育がどんどん普及してきた今日では、二十歳はまだ親がかりの身であり、学問のまっ最中という段階の人が多い。

二十歳というのは、選挙権や結婚の自由が認められ、大人としての義務を負うことになる。それだけ、社会が期待をかけるということになるわけである。ところが、現代の二十歳はなかなか期待されるだけの人間像に出来上がっていないという見

大学や専門学校の二年生であり、社会人としても、二年目である二十歳はまだまだ大人になるまでの猶予期間が長い、半人前にとどまっている状態が目立つてからであると思う。

したがって、成人式を迎える我々は、もつと自立への挑戦を試み、名実ともに大人への社会に進んでいける人間づくりを目ざさなければならないと思う。そして、心から祝福を受け、新しい人生への旅立ちにふさわしい心の準備を、今からでもしなければならぬと思う。

成人式を迎える我々には、周囲の関心が深く、期待の目が注がれている。

二十歳といえば、誰もが、無限の可能性をもち挑戦に失敗してもやり直すチャンスをつくも持っている力強さがあるのだから、前向きに進んで行かなければならないと思う。

少しぐらい失敗して、くやんでいたのでは、新しい道は開けないからだ。

今日の社会はいろいろな意味

で、深刻の度を増している。それだけに、みずみずしいバイタリティを求めているわけである。

これから八十年代に向かって前進するためには、どうしても、我々の強力なヤングパワーが中心になっていなくてはならない。

こうした社会の期待に答えていけるよう、しっかりした自覚と責任を持たなければならないと思う。

成人式を迎えたが、これで大人の世界の仲間入りができたわけではなく、まだまだ人間として出来上がっていない部分がたくさんあるわけで、よき先輩たちを見習い、「成人の日」の意味をしっかりとつかんで、早く一人前といわれる、大人の仲間入りをしたいと思う。

昭和55年度水田利用

再編対策面積決まる

昭和五十五年度の転作目標面積の市町村配分（当町一四〇、四ha）が大巾に引き上げられたことから、町では農業者の皆さんに水田面積の十二・五パーセントの転作をお願いすることとなりました。

この事業の実施を推進するため、集団転作等農業者の皆さんが有利に転作できるよう推進してゆきますので、よろしくおねがいいたします。

町議会議員補欠選挙

2月18日 立候補予定者説明会

3月2日 告 示

2月28日 立候補予定者届出事前審査

3月9日 投 票 日

町は明るく 選挙は清く